

【レポート】

第40回地方自治研究全国集会（しまね自治研）

保育職場におけるICT活用の取り組みについて



茨城県本部／
取手市職員組合
副執行委員長
梅崎 修平

■取手市におけるDXの現状

保育施設利用オンライン申請
システム導入（R6年度）



市民
（保護者）

茨城県内初公立保育所への
ICT導入（R1年度）



取手市子育て支援課DX

取手市
子育て支援課

保育所・幼稚園・
認定こども園



茨城県内初教育・保育給付費等
クラウドシステム導入（R3年度）

■ 導入の経緯

吉田・舟山保育所の統廃合により
井野なないろ保育所建設の計画

庁内会議（保育行政推進検討委員会）
にてICT導入の必要性について協議

導入が決定
プロポーザル審査により業者選定



市は、全ての公立保育所に ICT (情報通信技術) を導入しました。保育士の働き方が変わること、園児と向き合う時間が増えたり、保育士間でより良好なコミュニケーションが可能となりました。保育・教育の質を向上する、ICTの便利なポイントを紹介します。

園 子育て支援課 ☎ 内線 1341

保育士へのアンケートでは、9割以上が「ICTを導入して良かった」と回答しています。さらに半数以上が「時間にゆとりができた」と回答し、平均すると22分業務時間の短縮ができています。

保護者と保育士にとって、特に便利になった三つの機能を紹介します。

保護者と円滑な情報共有！

登降園管理

ICカードで園児の登降園の時間を記録します
▶保護者：登降園時間や延長保育料を、保護者アプリで確認できます
▶保育士：園児の登降園状況がタブレットで一目で分かります

保護者との連絡

出欠などの連絡が簡単にできます
▶保護者：出欠・遅刻の連絡や緊急時の連絡が、保護者アプリからできます
▶保育士：朝の電話対応が減り、正確に情報を把握・共有できます

お便り一斉送信

園からのお便りを保護者アプリに一斉送信します
▶保護者：自宅以外の場所でも、見たいときにいつでも内容を確認できます
▶保育士：必要なときにすぐ配信することができ、印刷・配布がなく効率的です

コロナ禍の影響による登園自粛の把握や、長くお休みしている園児への連絡、緊急の一斉送信など、ICTを導入したことで業務がスムーズに行えました。



井野ないう保育所
保育士

■ICT導入の効果

・登降園管理

ICカードで登降園時間の管理
延長保育料の集計が楽に

・保護者と園の連絡

出欠・遅刻・緊急連絡など
朝の電話対応業務が軽減
情報の共有

・お便り一斉配信

コロナ禍で大活躍！！
臨時休園等の連絡を配信
なかったら1件ずつ電話…

■取手市独自の取り組み

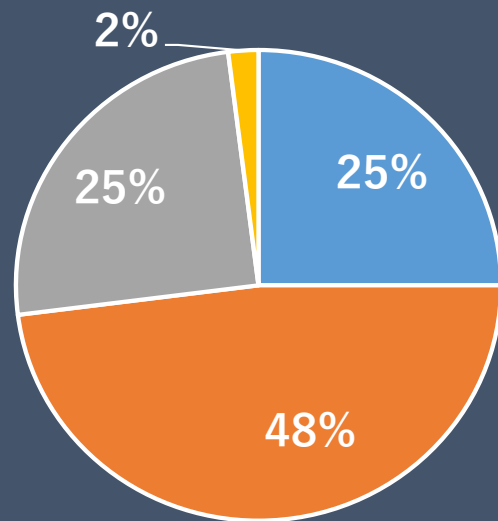
ICTリーダーを任命（20～30代職員が中心）
定期的に会議を開催し、活用方法について議論



- ・写真配信開始
- ・0歳児クラスより児童票をICT化
- ・未満児クラスの連絡帳機能を解放

※令和5年度ICTリーダー会議にて決定

保育士アンケート①



■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない

ICT導入が業務負担軽減に役立った と思いますか？

思う・やや思う（73%）

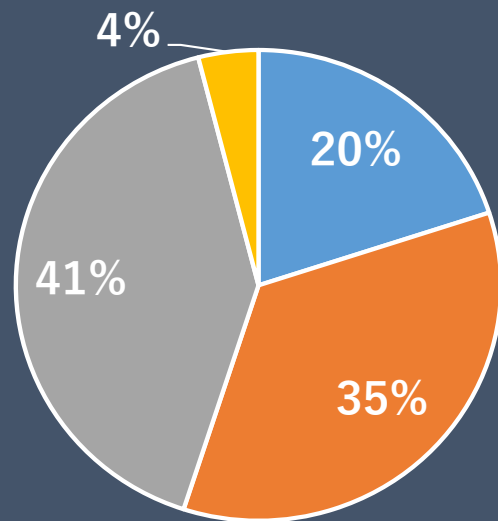
延長保育料の自動計算は時間短縮になった。
身体測定の記事、カウプ指数など便利になった。
連絡ノートがなくなり一斉でお知らせ配信できるよう
になってよかった。

思わない・あまり思わない（27%）

方法が変わっただけで業務量の減はない。
今まで記入していたものをタブレットでも入力しな
ければならず二度手間。
未満児クラスは連絡ノートを一人ずつ書いているため、
軽減されていない。

保育士アンケート②

ICTの操作はどうか？



■ 簡単 ■ やや簡単 ■ やや難しい ■ 難しい

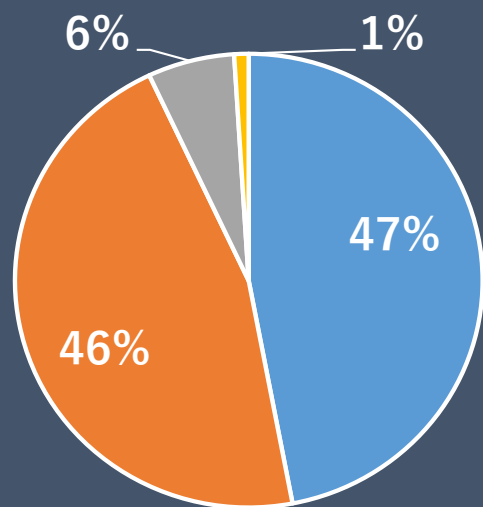
簡単・やや簡単 (55%)

タッチパネルの操作がとても使いやすい。
不安はありましたが、実際に操作し慣れてきた。
若い同僚がよく教えてくれたので分かるようになっていった。

難しい・やや難しい (45%)

パソコン等操作が苦手な方にとっては難しい。
色々な機能がありすぎて、どれが何か分からない。
急に更新になり、資料が消えてしまったり、トラブルがあったときのやり直しが大変。

保育士アンケート③



■良かった ■やや良かった
■あまり良くなかった ■良くなかった

登降園管理についてどう思いますか？

良かった・やや良かった（93%）

紙よりも他のクラスの状況が分かり、遅番、早番では人数の把握がしやすい。

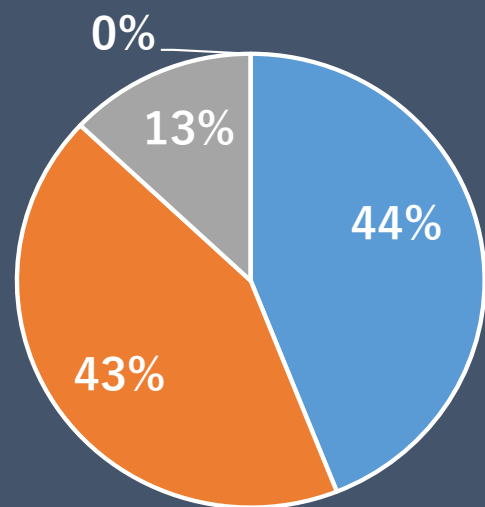
クラスごとや全クラスの出欠を確認できて便利。タブレットで一目で何人いるかわかるので良い。

良くなかった・あまり良くなかった（7%）

インターネットが最初つながっていても、途中で切れてしまって、もう一度再起動するしかないのが大変。毎日、誰かしら打刻忘れがいて手入力している。

保育士アンケート④

保護者連絡機能についてどう思いますか？



■良かった ■やや良かった
■あまり良くなかった ■良くなかった

良かった・やや良かった（87%）

欠席、迎え遅れなど保護者も使いやすいのか、以前より連絡を忘れることが少なくなった。

電話対応が減ったのはありがたい。

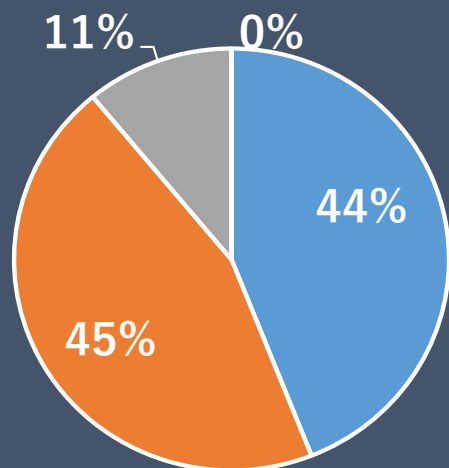
今まで遅れる連絡をしてこなかった保護者が連絡をしてきてくれるようになった。

良くなかった・あまり良くなかった（13%）

直接関わる機会が減ってしまった。

いつでもタブレットを見られるわけではないので、保育中に入ってきた連絡の確認ができない。

保育士アンケート⑤



■良かった ■やや良かった
■あまり良くなかった ■良くなかった

おたより一斉配信についてどう思いますか？

良かった・やや良かった（89%）

必要なタイミングですぐに配信できるのでとても助かっている。

紙ではないため、なくすことや配布漏れが防げて良い。既読も確認できて便利。

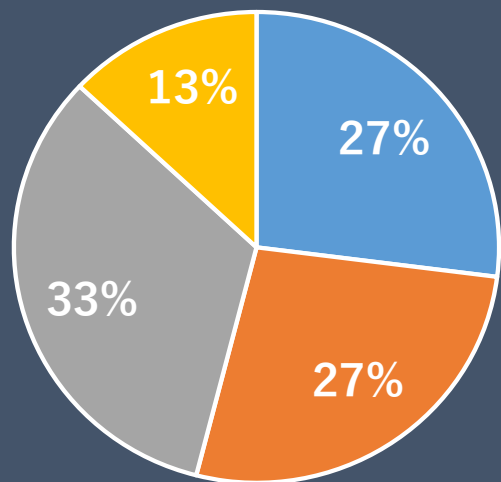
印刷して配布する手間を考えたら、本当に良かった。

良くなかった・あまり良くなかった（11%）

配信を見ている家庭が少ない。声をかけても見ない。日本語が不自由な方は大変だと思う。

保育士アンケート⑤

体感的に一日どの程度業務時間が短縮できたと思いますか？



■ 10分程度 ■ 20分程度 ■ 30分程度 ■ 30分以上

以下コメント

延長保育料はかなりの時間がかかっていたので、半日分時間が短縮できた。

主に午睡中、以上児は連絡帳記入がなくなったので他の作業に充てられる。

配布物の印刷や延長保育料計算などにかかっていた時間が短縮された。

朝の出欠の連絡の電話対応の時間は楽になった。聞き間違いや抜けもなくなった。

保育士全員でノートを書いていたころと比べて、今は当番の一人がお知らせ配信を入力しているので、その当番じゃない日は20～30分ほど午睡の時間に余裕ができた。

■ICTを活用した通知発送（構想段階）



「利用者負担額の決定通知書」

「保育の支給認定証」

× 紙で郵送

◎ **PDF形式で送付**

コドモンを使い

保護者へ送付できないか??

■ICTを活用した通知発送（構想段階）

現行の通知発送

封詰め
年間10,391件（R3年度実績）

郵送件数
年間約6,000件

印刷



基幹システム内データ



起案・決裁後
通知の写しをファイリング

保育園から直接手渡し
年間約4,000件

■ICTを活用した通知発送（構想段階）

【公立保育所】

データで保存
(起案はリストで)



【私立保育園】
【認定こども園】

通知をPDF化



クラウドシステム仲介



 Kids Connect



児童ごとの認定証番号
アプリを紐づけ



知りたいときに
いつでも確認可能！

※民間園については、
コドモンや他のICT
システムで対応

■ 本当の意味でのDX

Digital Transformation(DX) = デジタル化による **変革**

システムの導入はあくまでも Digitization

つまりデジタル技術によって効率化した だけ！！

システムを導入して満足するのではなく、

業務そのものを見直し、 変革する 必要がある！！